

令和6年度 第1回九州矯正歯科学会総会議事録

進行 庶務理事 五百井 秀樹

日 時 令和7年3月1日(土) 9:30-11:30
場 所 アクロス福岡
出席者 役 員(11名、第19回大会長および第21回大会長を含む)
評議員(16名、第19回大会事務局長および第20回大会長および大会事務局長を含む) IT委員会委員長

一、開会

一、会長挨拶(宮脇会長)

宮脇会長より、第20回記念学術大会・総会が2025年3月1日(土)と2日(日)の2日間、福岡市のアクロス福岡にて開催される予定であること、第21回学術大会については、大会長の小椋先生をはじめ大分県支部の先生方が準備を開始され、運営委員会でも協議されているとのこと、また、川元龍夫理事を中心に第20巻第1号が昨年末に定期発刊されたことへの感謝の辞が述べられた。加えて、12月に行われたTA0の学術大会・総会の報告が挨拶として述べられた。

一、大会長挨拶(第20回大会 宮 久信大会長)

関係者への謝辞と協力依頼があった。

会の成立、出席者と定足数の確認

評議員20名中、富永淳也先生(長崎大学支部)、田村仁美先生(福岡県支部)、渡邊悦子先生(長崎県支部)矢野収一先生(宮崎県支部)4名欠席、委任状あり、会の成立を確認した。他に、IT委員会委員長田中隆一先生が出席。

一、議長選出

飯野祥一郎評議員(鹿児島県支部)選出

一、議事録署名人の選出

大賀泰彦評議員(鹿児島大学支部)および内海 大評議員(大分県支部)選出。

一、物故会員への黙祷

五百井庶務担当理事より、今年度の物故会員の報告がないことが報告された。

一、会務報告

1. 会長報告（宮脇会長）

学会誌の発行時期について、12月から11月に変更することが報告された。加えて、12月に行われたTAOの学術大会・懇親会参加の報告が述べられた。

2. 庶務報告（五百井庶務理事）

会員動向：2025年1月31日時点の正会員数596名、名誉会員2名、賛助会員19社2024年4月1日ー2025年1月31日の入会者22名、退会者3名であるとの報告がなされた。

令和6年9月5日に第1回理事会、令和7年1月30日に第2回理事会開催し、令和7年3月1日に第1回総会開催。

その他会務報告として、2024年7月日矯から「地区学会等雑誌共同販売のお知らせ」を会員へ連絡、同7月全会員宛お知らせを学会ホームページ会員専用サイトへ掲載したことが報告された。

また、12月に九州矯正歯科学会雑誌第20巻1号を発送した。

ホームページ管理等の費用については以下の通りである。

さくらのレンタルサーバ	6,600円
josh-k.orgドメイン使用料	2,493円
ConveyThis支払 399.99USD	47,594円（HPの多言語化）
合計	56,687円

会員サイト メール登録 542名（2025年1月20日現在、会員596名中90.9%）

Google フォームのアドオン（機能拡張）ソフト：オンライン演題募集、大会参加登録システム運営に必要な費用

Digitali Inspiration支払 49.95 USD 7,417円（抄録の自動pdf化と配信）

会費の自動引落希望者は2025年1月20日現在、260名（会員596名中43.6%）

役員・評議員・委員会委員名簿の確認を行った。

会費未納者：2025年1月20日時点の3年未納者は18名。2年未納者は9名であるとの報告がなされた。

3. 財務報告（上村財務理事）

上村財務理事より、今後の会費徴収について、2024年度は、コンビニと口座引落の両方

で徴収を行い、口座引落の希望者は、一般会員：587 名中 260 名から申し込みがあり、徐々に全面的に口座引落に切り替えていく旨が報告された。

令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）の収支について報告があった。収入の部について、正会員会費収入が 4,725,000 円、賛助会員収入は、540,000 円であり、当期収入合計は 6,215,747 円、当期支出合計は 5,059,229 円、次期繰越金は 13,720,731 円であったことが報告された。

4. 編集報告（川元編集理事）

第 20 巻 1 号において、2024 年 12 月 23 日に発刊した旨報告された。

専門医制度を受け、12 月発刊から 11 月発刊を目安とすることが報告された。

掲載論文 5 編であり、次年度に向けて、各大学および支部に投稿が呼びかけられた。

今年度は、WEB 開催で編集会議を行い、掲載内容、編集後記の執筆順番、査読の進め方について、協議を行ったことが報告された。

トラベルアワードへの寄稿について順次依頼を行っていることが報告された。

広告掲載については、今号は 6 社掲載されたことが述べられた。

5. 学術報告（今後の学術大会の開催地）（玉置学術理事）

学術委員会の構成委員について報告があった。2024 年度トラベルアワード選考について、春山直人先生を幹事として選考を行い、丸谷 佳菜子 先生（鹿児島大学）、國見 亮太 先生（福岡歯科大学）が推薦された。

2024 年度以降の大会開催スケジュール予定について、第 21 回大会を大分県支部が担当、第 22 回大会は九州歯科大学支部が担当予定。

6. 渉外報告

（国内：小椋渉外理事）

国内：日本矯正歯科学会臨床・疫学研究倫理審査委員会委員は富永淳也先生（長崎大学）、日本矯正歯科学会ホームページ倫理審査作業委員は寺尾文恵先生（九州大学）、日本矯正歯科学会認定医委員会地区審査委員は前田綾先生（鹿児島大学）、日本矯正歯科学会臨床指導医（旧専門医）委員会地区審査委員については、近藤成智先生（こんどう矯正歯科）が担当されることの説明があった。

（国外：陶山渉外理事）

2025 年 9 月 TOS 学会への参加する旨が報告された。

7. 第 19 回大会報告（鹿児島大学支部）

第 19 回大会事務局長の前田綾先生より大会開催の御礼が述べられた。

大会参加者数 計 440 名、懇親会参加者は、116 名であった。

また、オンデマンド大会の参加者の感想ならびに大会財務報告がなされ、収入は、6,634,001 円、支出は、6,634,001 円（学会返戻金含む）であった。

8. 第 20 回大会経過報告（福岡県支部）

第 20 回大会長の宮菌先生より、大会概要、準備状況、参加費、大会日程についての報告があった。抄録集については、会員全員へは HP のサイトにて電子抄録の提供を行った。

9. 会長・監事選挙結果報告（選挙管理委員）

北原委員長より、次期の会長および監事について、選挙結果の報告が説明され、

次期会長として、宮脇正一先生、次期監事として、小椋幹記先生、石川博之先生が選出されたことが報告された。

10. 次期評議員報告

五百井庶務担当理事より、次期評議員の一覧が説明され、佐賀県支部：酒井利雄先生、沖縄県支部：下地史麻先生へ変更があったことが報告された。

一、監査報告

石川博之監事と川越仁監事より、令和 5 年度の決算を個別に監査した結果、会計管理および記載事項に問題がないことを確認したとの監査報告があった。

一、審議事項

第一号議案 次期の会長および監事の承認を求める件

次期会長として、宮脇正一先生、次期監事として、小椋幹記先生、石川博之先生が選出されたことが報告され、異議なく承認された。

第二号議案 令和 5 年度（2023. 4. 1-2024. 3. 31）歳入歳出決算の承認を求める件（上村財務理事）

令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）の収支について、収入合計は 6,215,747 円、支出合計は 5,059,229 円、次期繰越金は 13,720,731 円との報告があ

り承認された。

第三号議案 令和7年度事業に関する件（五百井庶務理事）

以下8事業が異議なく承認された。

事業①令和7年度事業計画案

事業②第21回学術大会の開催 大分県支部、小椋幹記大会長

事業③理事会、総会の開催

事業④九矯歯誌第21巻1号発行

事業⑤予算案作成

事業⑥ホームページ管理

事業⑦第22回学術大会（九州歯科大学）の開催支援

事業⑧若手研究者の国際交流サポート

第四号議案 令和7年度入会金・年会費徴収について承認を求める件（上村財務理事）

入会金は、3,000円、年会費は7,000円として説明され、令和6年度より2～3年ほどかけて、年会費徴収の方法をコンビニ決済から自動口座引き落としへ順次移行することが、述べられ、異議なく承認された。

第五号議案 令和7年度歳入歳出予算案の承認を求める件（上村財務理事）

収入の部：入会金 60,000 円、正会員会費 3,990,000 円、賛助会員会費 380,000 円、投稿料収入 150,000 円、広告料収入 150,000 円、補助金収入 300,000 円、雑誌共同販売等の雑収入 50,000 円。当期収入合計は 5,080,000 円、前期繰越収支差額 13,720,731 円を加えて、収入合計は 18,800,731 円。

支出の部：事業費として大会準備金 1,500,000 円、雑誌発行費 1,300,000 円、管理費として通信印刷費 230,000 円、編集経費 20,000 円、消耗品費 50,000 円、会議費 45,000 円、国際交流費 400,000 円、旅費交通費 250,000 円、会員管理関係事務費 1,191,300 円、支払手数料 70,000 円、雑費 20,000 円、予備費 13,724,431 円を加えて、当期支出合計は 18,800,731 円として承認された。

第六号議案 第21回大会（大分県支部）に関する件（小椋大会長）

小椋大会長より第21回大会について、会期は2026年3月7日（土）、8日（日）、会場はJ:COM ホルトホール大分。大会テーマは「下顎前突治療を見直そう」、特別講演の候補者として有本博英先生、Lee Eun-Hee 先生、日台ジョイントシンポジウムの開催、招待講

演は台湾口腔矯正医学会次期会長 Yu-Kun Chih 先生への講演依頼を予定しているとの説明があった。また、大会スケジュール、今後のスケジュールが案として承認された。

第七号議案 次々期第 22 回大会（九州歯科大学支部）に関する件

第 22 回大会を九州歯科大学担当での開催とすることが承認され、会期は 2027 年 3 月 13 日（土）、14 日（日）、大会長は川元龍夫先生、会場は北九州国際会議場とすることが説明され、承認された。

第八号議案 優秀発表賞について

以下の通り、原案にて、了承された。

【目的】

毎年の学術大会における優秀発表を選出・表彰し、会員の発表意欲を高める。

【方法】

審査員 13 名（大学支部：5 名、県支部：8 名）で構成される審査委員会を組織する。学会長は、次々回大会開催支部（例：第 20 回福岡開催の場合は第 21 回大分支部が行う）（以後、大会開催支部の持ち回り）において、審査委員会の審査委員長を指名し 14 名で業務を行う。選出された審査委員および互選による審査委員長により、原則として大会期間中に学術展示・症例展示および口演（症例・学術）を確認し投票を行う。審査委員長は審査結果を集計し、上位 5 題以内を表彰する。審査委員長は学会長に諮り最終的な表彰者を決定し、可能な限り、表彰は学会長が大会期間中に行い、学会 HP 上でも後日公開し賞状を郵送する。

第九号議案 会計年度の変更の件（上村財務理事）

上村理事より現状発生している会計年度のずれについて説明がなされた。

現在、収支報告については 1 年以上経過してから行われている状態であり、これを解消するために、会計年度を 4 月一翌年 3 月から、1 月一 12 月に変更する事を提案された。また、これに伴って、2027 年度総会時に、2025 年度決算ならびに 2026 年度決算報告（2026/4～2026/12）を行い、会計年度のずれを解消することが提案され異議なく承認された。

決算報告に際し、資料の作成期間などを事前に事務局に確認していることが併せて報告され、原案が承認された。

第十号議案 大会事後抄録の件（高橋理事）

高橋理事より、今後大会事後抄録を廃止することが提案され異議なく承認された。

一、協議事項

1. 総会の開催方法について（宮脇会長）

宮脇会長より、ハイブリット開催とした場合以下の通り、費用について説明がなされた。

Zoom 手配：3,000 円、別途機材費（会場によって変動しますが、約 15 万円：レンタル）

今後の方針として、総会は対面で行われることが協議された。本事項は、審議事項に変更され、異議なく承認された。

2. 今後の役員人員と若手の育成について（宮脇会長）

宮脇会長より、今後の役員人事については、可能な限り計画的に進め、そして早めに若手の先生を育成することに重点をおくことが再確認され、今後も協議していくこととなった。

その他

小椋理事より、学術大会の会員懇親会（仮称）ならびに前日歓迎会（仮称）の招待者とその費用支払いについて（案）が説明された。本事項は、審議事項に変更され、異議なく承認された。

川越監事より、退任の挨拶が述べられた。

一、次期開催地大会長挨拶（第 21 回大会 小椋幹記大会長）

大分県にて開催される次回大会は、大分県支部で協力し、盛り上げていきたい旨、挨拶が述べられた。

一、閉会

吉田教明副会長から閉会の辞が述べられた。

議長

飯野 祥一郎	
--------	---

議事録署名人

大賀 泰彦		内海 大	
-------	---	------	---